



## 長期の安全・安心を確保する「更新事業」

道路構造物を長期にわたり健全に保ち、ご利用のお客さまに安全・安心な道路を提供し続けるために、構造上・維持管理上の問題や損傷状況を細かくチェックしながら、首都高速道路の更新・修繕事業を進めています。



東品川桟橋・鮫洲埋立部更新事業



工事の詳細は  
ホームページへ



池尻・三軒茶屋出入口付近更新  
付加車線増設



東品川桟橋・鮫洲埋立部更新事業に関するお問い合わせ

工事についてのお問い合わせ | 更新・建設局 品川工事事務所  
〒141-0032 東京都品川区大崎5-4-3 ONOビル2F  
TEL 03-3779-5106 / 受付時間(平日) 10:00~17:00

計画についてのお問い合わせ | 更新・建設局 調査・環境課  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 17F  
TEL 03-6803-3770 / 受付時間(平日) 10:00~17:00

発行 2025年9月

SHUTOKO  
RENEWAL  
PROJECT  
100年先の未来へ。  
守り、残す。  
For the next 100 years



ひと・まち・くらしをネットワーク  
首都高速道路株式会社

SHUTOKO RENEWAL PROJECT  
東品川桟橋・鮫洲埋立部

## 1号羽田線 1.9km 変わらないけど 変わります。

首都高速道路株式会社はSHUTOKO RENEWAL PROJECTの第一弾として、1号羽田線の東品川桟橋・鮫洲埋立部のリニューアル工事を進めています。更新する高速道路の長さは約1.9km、車で走り抜けるのはわずか2分ほど。道路が新しくなっても、それは変わりません。都心と羽田空港や横浜方面とをつなぐ大動脈としての機能も変わりません。大きく変わるのは、この道が100年先も安全・安心であり続ける道となること。

1号羽田線1.9km、変わらないけど変わります。



## SHUTOKO RENEWAL PROJECTの挑戦

2016  
2月

### 工事に着手



社会的影響を最小限とするため、う回路を構築。東京2020大会開催時には損傷した現道を使用しないというミッションを掲げ、基礎杭工事着手から約16ヶ月でう回路を完成させました。



構築中のう回路(2017年5月撮影)

2019  
9月

### 大井JCTの架け替え



羽田線(上り)には、大井JCTで湾岸線(東行き)からの連結路が接続しています。この連結路の付け替え工事では、モノレールが走らない夜間の2時間半の間に、古い橋げた(273トン)から新しい橋げた(341トン)に架け替えました。



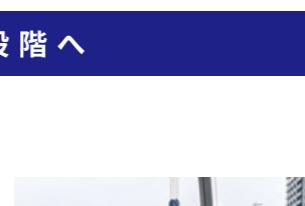
巨大な新しい橋げたの架け替え  
(2019年1月撮影)

2020  
6月

### 暫定下り線の運用開始



将来的に上り線となる更新線が完成。交通を切り替えて暫定的な下り線として運用を始め、古い羽田線(下り)の更新工事に着手しました。



## 更新プロジェクトはいよいよ最終段階へ

2025  
10月

### 下り線を切り替え



更新上り線に続き、更新下り線が完成し、下り線交通の切り替えを実施。更新下り線工事ではすぐ横にモノレールが走り、もっとも近い個所での距離は0.9mほどという狭隘な空間で、安全に配慮しながら工事を進めてきました。



現場のすぐ横を走るモノレール  
(2024年3月撮影)

2026  
春

### 下り線本線通行止工事



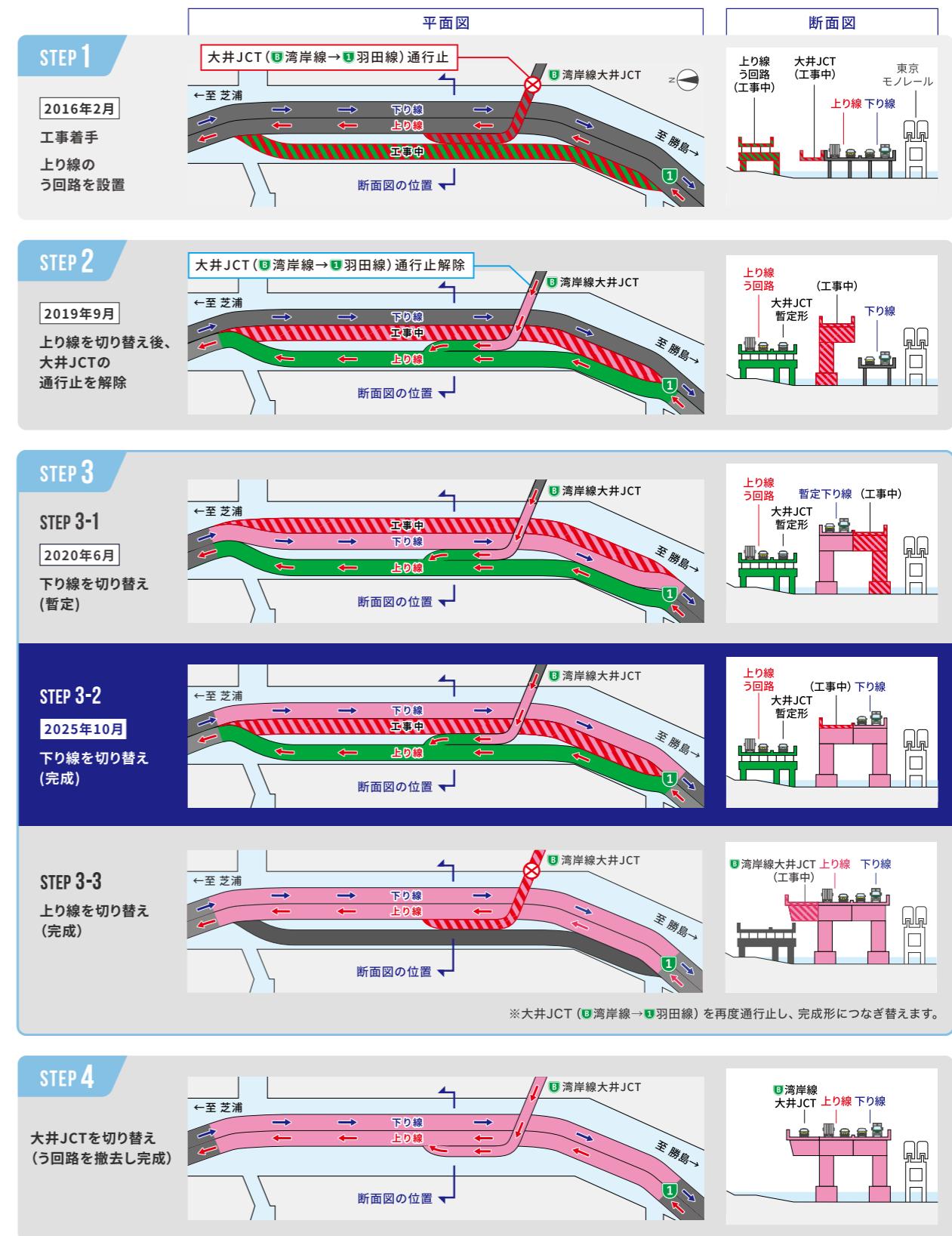
羽田線(上り)の交通を更新線へ切り替える工事の一環として、2026年春頃の土曜日、日曜日に羽田線(下り)の通行止めを予定しています。

### 上り線を切り替え

**新たな1号羽田線が今、動き出します。**

## 施工ステップと工事中のご利用方法

- 1号羽田線本線の交通機能を確保するため、う回路を設置し、交通を切り替えながら本線を半断面ずつ造り替えます。
- 今後の施工ステップによってご利用いただく道路を切り替えますので、走行にご注意ください。



■ 更新部分 ■ う回路 ■ 工事中

変わらないこの道を守り続けるために



1号羽田線の東品川桟橋・鮫洲埋立部は、東京オリンピックを翌年に控えた1963年に開通しました。以後半世紀以上にわたり、皆様の暮らしや物流、経済の発展を支えてきました。しかし、1日約7万台に及ぶ交通量、海水面に近く腐食しやすい環境など、過酷な状況の中で構造物の高齢化が進んでおり、近年は重大な損傷が多発してきました。

このような損傷が原因で高速道路が使えなくなると、皆様の暮らしや物流に影響してしまうことから、高速道路を安全に、安心してご利用できるよう、きめ細やかな点検と補修を、日夜行っています。しかし、さらには大きな損傷の発生を防ぎ、毎日の安全・安心を守るために、丈夫で長持ちする構造物に抜本的に作り替える必要があります。



海水により激しく損傷した構造物



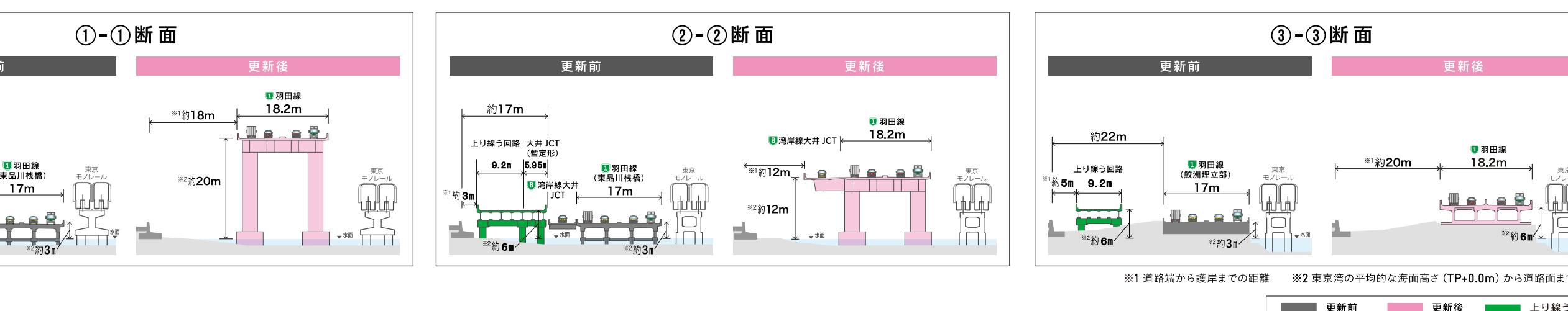
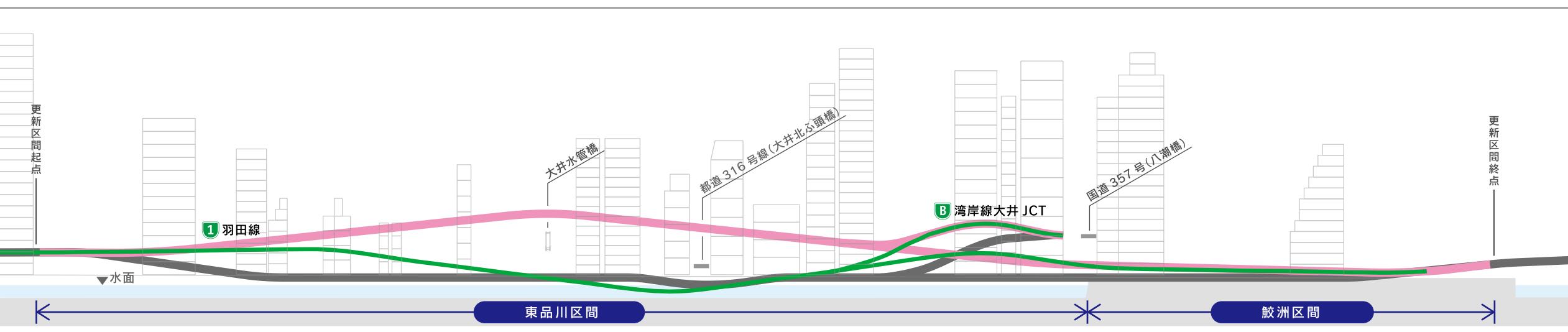
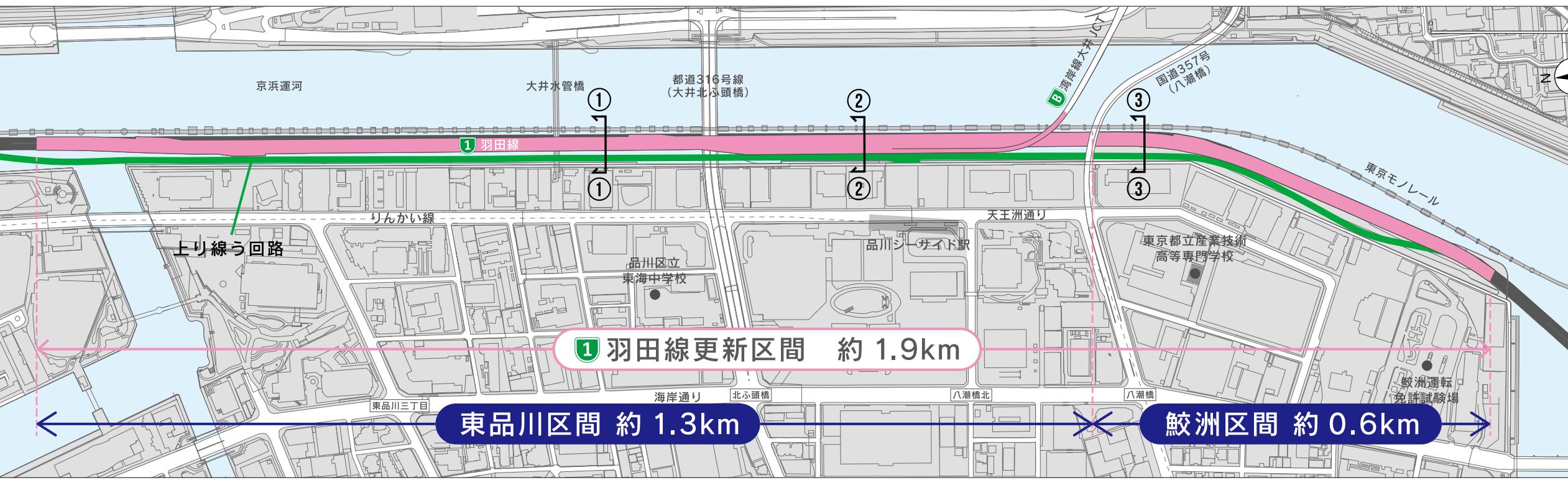
そのため、1号羽田線の東品川桟橋・鮫洲埋立部は、リニューアルプロジェクトに着手。海水面との距離を空けることなどにより、長期的な耐久性と維持管理性に優れた構造に取り替えています。それは、工事により長期に交通を止めることなく、う回路を通したうえで同じ場所に新しい道路を造るという難工事です。

## 東品川桟橋・鮫洲埋立部更新

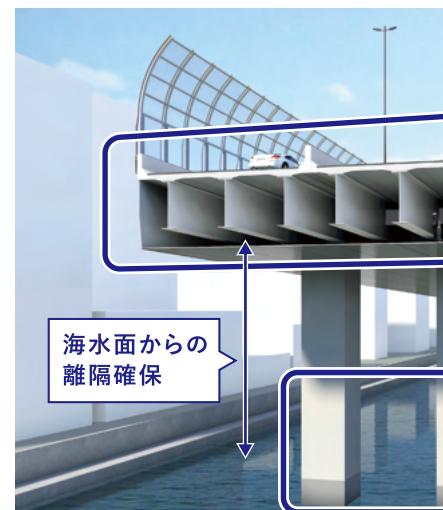
**事業手続き**  
高速1号羽田線(本区間)開通 : 1963年12月21日  
国土交通大臣による事業許可 : 2014年11月20日  
都市計画(変更)決定 : 2014年12月18日  
都市計画事業認可 : 2015年2月18日

**事業概要**  
路線名 : 高速1号羽田線  
事業区間 : 東京都品川区東品川二丁目～品川区東大井一丁目  
延長 : 約1.9km  
道路の区分 : 第2種第2級(道路構造令)  
完成予定期 : 2030年度

## 事業区間とリニューアルのポイント

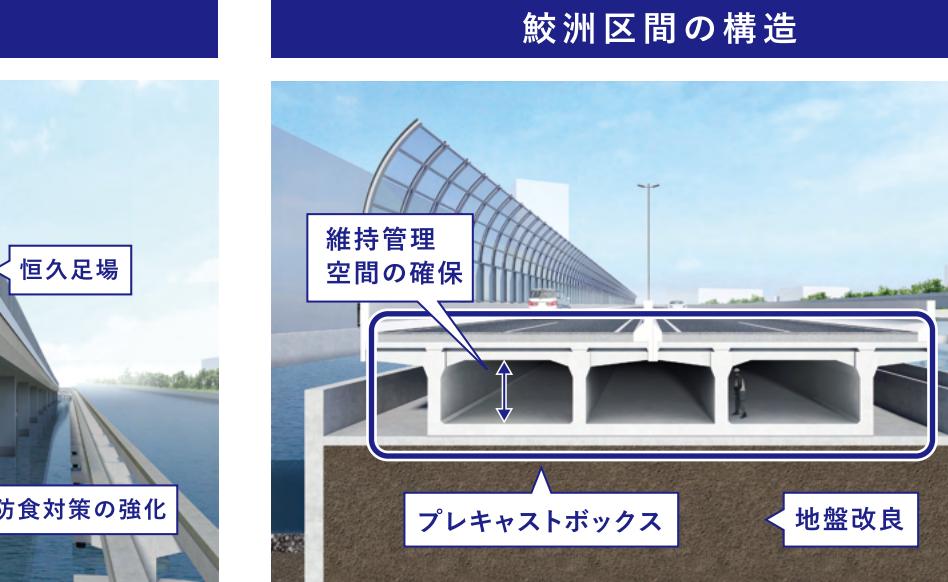


## 東品川区間の構造



### ①ここが変わります!

- 海水面から一定程度離れた高架構造に更新
- 並行するモノレールからの離隔を確保
- 景観性に配慮した常設の維持管理用足場(恒久足場)の設置
- 橋脚の防食対策の強化(金属溶射・ステンレスライニング)



### ①ここが変わります!

- 中空のプレキャストボックス構造の採用による耐久性・維持管理性の向上
- エポキシ樹脂被覆鉄筋の採用による更なる耐久性の向上
- プレキャストボックス下の地盤改良(地耐力確保・液状化対策)



## 車の走行性が向上

### ①ここが変わります!

- これまで17mだった道路の幅を現在の規格に合った18.2mに拡げ、空間的余裕が増すことで車の走行性が向上
- また、万が一故障した車両等が路肩に停止しても、通行する車両に与える影響を軽減